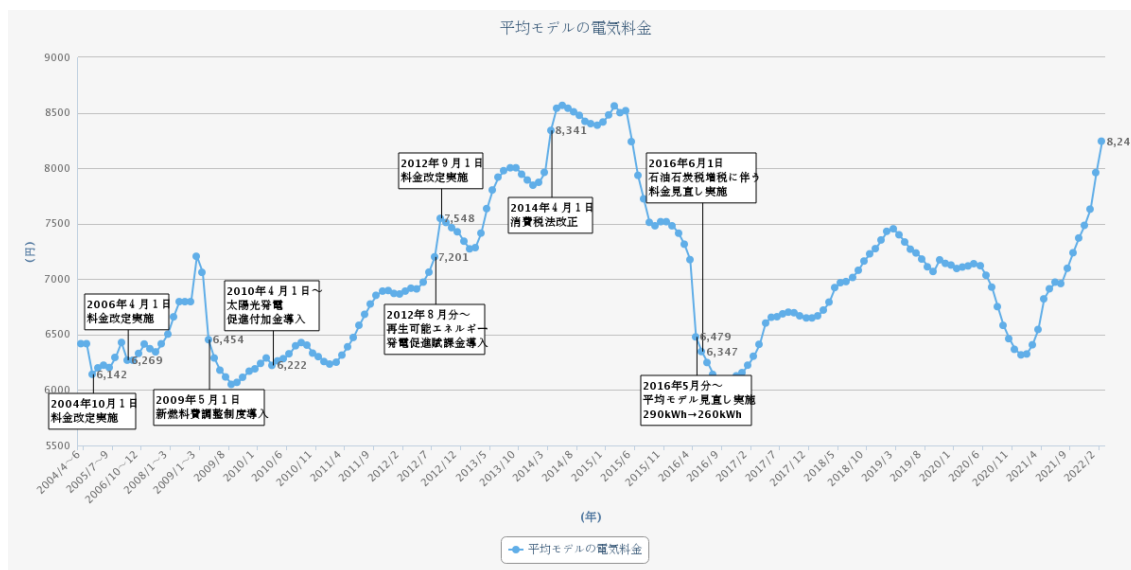


## 「電気・ガスの値上がりは続くけど、国の補助は9月まで!？」

電気、ガスの月の請求額が、驚くほど高くなっている家庭が多いのではないのでしょうか。

今までと同じ生活をしているのに、料金が3割以上高く、なかには倍近くになっている家庭も。

原因は、日本のエネルギーの大半を占める原油・LNG（液化天然ガス）の高騰に加え、円安やウクライナ情勢など。さまざまな要因が複雑にからみ合っているため、1つの要因が解消されたからと言って、すぐに値下がりするものではないでしょう。それだけに、値上がりがいつまで、どこまで続くのか先が見えません。



その対策として、2023年2月から政府による「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が始まりました。

この事業により、一般家庭の場合は以下の金額が補助されます。

【2023年1月使用分（2月検針分）～8月使用分（9月検針分）】

- 電気：1kWh（キロワットアワー）当たり7円
- 都市ガス：1m<sup>3</sup>（りゅうべい）当たり30円

【2023年9月使用分（10月検針分）】

- 電気：1 kWh（キロワットアワー）当たり3.5円
- 都市ガス：1m<sup>3</sup>（りゅうべい）当たり15円

例えば、月 300kWh の電気を利用した場合、2023 年 1～8 月は月 2,100 円、2023 年 9 月は月 1,050 円が補助されることに。

また、月 30 m<sup>3</sup>（りゅうべい）の都市ガスを利用した場合、2023 年 1～8 月は月 900 円、2023 年 9 月は月 450 円が補助される計算です。

ただし、2023 年 10 月以降の補助についての発表は今のところありません。

また、電気代のさらなる値上げも検討されています。

経済産業省で 4 月 4 日に開かれた、大手電力 7 社の家庭向け規制料金の値上げ幅を審査する専門会合では、このように電力各社より値上げする案が検討されました。

電力7社が再算定し、4日に公表した値上げ幅				
	月額 の 値上げ幅	上昇率	政府の 支援策	負担増の 金額
北海道	2313円	26.1%	1610円	703円
東北	2023	23.6	1820	203
東京	1558	17.1	1820	▲262
北陸	2754	43.0	1610	1144
中国	2342	29.1	1820	522
四国	2180	27.5	1820	360
沖縄	3245	36.7	1820	1425

(注) 260kW時の標準モデル、北海道と北陸は230kW時。前回の価格改定との比較、▲はマイナス

もし、この案のまま電気代が引き上げられた場合、政府の補助金があったとしても、補助前よりも料金があがる地域がでてきます。

さらに、9 月以降補助金継続されなければ、今年の 1 月よりもさらに 20%から 40%ほどの電気代の負担が増えることに。家計への打撃は計り知れません。

今後住宅を検討する場合は、太陽光発電についてはかなり真剣に検討する必要があります。